

# 初任者研修に係る校外研修「授業参観」(中学校)

授業参観・講話・演習を通して、ねらいが明確な授業の組立て方や指導の在り方等について理解を深め、教師としての指導力の向上を図ることを目的に、平成28年6月23日、竹田教育事務所管内の中学校初任者6名を対象に、初任者研修に係る校外研修「授業参観」を実施しました。

<研修内容>

- 1 講話 「初任者に伝えたいこと」  
講師 竹田市立竹田南部中学校 野仲睦生 校長
- 2 説明 「提案授業の見方と授業記録のとり方」「本日の授業について」
- 3 授業参観 「数学」(3年) 学力向上支援教員による授業を参観  
竹田市立竹田南部中学校 後藤哲治 指導教諭
- 4 協議1 「授業参観から学ぶ指導技術」
- 5 協議2 「これまでの授業実践における課題について」

学力向上支援教員  
後藤哲治先生の授業を参観→



授業を参観した後、学ぶべき指導技術を  
初任者が分析しています。↓



<初任者の感想>

- 野仲校長先生の講話を伺い、教員という仕事を選んだ人間は、どのように考え、行動するか、ということについて改めて考えることができました。
- 授業をみる観点についての研修は、今まで受けたことがなかったので、大変参考になった。校内研等にも活用したい。
- 新大分スタンダードでは、生徒指導の三機能などと言われておりますが、具体的にこうすればよいというのがわかりました。
- 授業参観では、グループの作り方、発問の仕方、思考力を育むための活動など、勉強になることがたくさんありました。
- すばらしい授業が参観できて、その後のグルーピングで改めて自分の頭の中を整理し、実践してみたいという意欲につなげることができました。
- 協調学習や新大分スタンダード、生徒指導の三機能など、授業をする上で気をつける点や工夫する点を多く学ぶことができた。評価についてはなかなか聞く機会がない内容だったので、今後の授業で意識したい。

<最後に> 竹田教育事務所としては、今回の研修を通して学んだことを、初任者が日々の授業実践に生かすことを期待しています。「専門的知識をもち、実践的指導力のある教師」になることをめざし、今後も、新大分スタンダードに基づいた授業づくり及び授業実践を支援していきます。